新技術概要説明資料（１／５）

		登録No.	1564
名称	レジソークType1	収受受付年月日	平成27年5月25日
		変更受付年月日	
副題	コンクリート構造物の予防保全及び劣化進行の抑制	開発年	平成23年4月1日
区分	□1.工法　□2.機械　■3.材料　□4.製品　□5.その他　番号：		3
分類	1-1-6.共通工／コンクリート工		
キーワード	□１.安全・安心　■５.公共工事の品質確保・向上	4	5
	□２.環境　■６.景観	6	
	□３.情報化　□７.伝統・歴史・文化		
	■４.コスト縮減・生産性の向上　□８.リサイクル　番号：		

国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
	中国地方整備局	平成24年5月21日	CG-120004-A	評価なし

開発目標（選択）					
	■1.省人化	□5.耐久性向上	□9.地球環境への影響抑制	1	2
	■2.省力化	■6.安全性向上	■10.省資源・省エネルギー	3	4
	■3.経済性向上	■7.作業環境の向上	■11.品質の向上	7	8
	■4.施工精度向上	■8.周辺環境への影響抑制	□12.リサイクル性向上　番号：	10	11

活用の効果					
	従来技術名：	表面被覆工法（有機系）			
	1.経済性	■1.向上（38%）　□2.同程度　□3.低下（　%）	番号：	1	38.0%
	2.工程	■1.短縮（83%）　□2.同程度　□3.増加（　%）	番号：	1	83.0%
	3.品質・出来型	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
	4.安全性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
	5.施工性	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
	6.環境	■1.向上　□2.同程度　□3.低下	番号：	1	
	7.その他	□1.　（定義済みの値なし）	番号：		

開発体制		
	■1.単独　□2(1)共同研究(民民)　□2(2)共同研究(民官)　□2(3)共同研究(民学　番号：	1

開発会社	大日本塗料株式会社	販売会社	全国塗料販売店	協会名	

問合せ先				
	技術	会社名：大日本塗料株式会社	住所：〒324-0036	
			栃木県大田原市下石上1382-12	
		担当部署：構造物塗料事業部	TEL：	0287-29-1917
			FAX：	0287-29-1922
		担当者名：関智行	mail:	seki@star.dnt.co.jp
	営業	会社名：大日本塗料株式会社	住所：〒144-0052	
			東京都大田区蒲田5-13-23TOKYUREIT蒲田ビル8F	
		担当部署：構造物塗料事業部	TEL：	03-5710-4502
			FAX：	03-5710-4520
		担当者名：仁木佑	mail:	niki@star.dnt.co.jp

（概要）

①何について何をする技術なのか?
・コンクリート構造物表面に塗布することで、コンクリート表層部の組織を改質し、表面からの水分、塩分等の浸入を防ぎ、塩害や凍害、中性化などによる劣化進行を抑制する技術。
②従来はどのような技術で対応していたのか?
・表面被覆工法(有機系)
③公共工事のどこに適用できるのか?
・予防保全を施す新設及び劣化進行の抑制が必要な既設のコンクリート構造物(橋梁上下部、擁壁、ボックスカルバート建築物など)

新技術概要説明資料（２／５）

新技術名称	レジソークType1	登録No. 1564

（特　徴）

（長　所）

・コンクリート構造物表面に塗布することで、コンクリート表層部の組織を改質し、表面からの水分、塩分等の浸入を防ぎ、塩害や中性化などによる劣化進行を抑制する
・材料費が低減し、コストメリットが向上する。
・塗装は1工程・1回であるため、工期の短縮および経済性の向上が期待できる。

（短　所）

・外観が変わらないため、塗布した場所の見分けが困難

（施工方法）

1.下地処理工
・コンクリート表面の塩分、湿気、粉塵、水分その他の異物を完全に除去する。
・突起物や段差等は動力工具や手工具を併用して平滑にする。
・油脂分の付着がある場合は、シンナーをしみ込ませたウエスで丁寧に拭き取る。
・全表面を処理した後、ブラシ、ホウキ、エアーブロー等で被塗面を十分清掃する。
・コンクリートの表面含水率が7%以下であることを確認した後、塗布が可能。
2.含浸材塗布工
・使用前に充分に攪拌して均一な塗料状態にする。
・無希釈で、刷毛またはローラーで、塗り広げずに規定量を塗りつける必要がある。
・標準塗布量は0.16kg/㎡。

（施工単価等）	□1(1).歩掛りあり（標準）　■1(2).歩掛りあり（暫定）　□2.歩掛りなし	
掲載刊行物	建設物価（　有　・　(無)　）　掲載品目（　　）	
	積算資料（　有　・　(無)　）　掲載品目（　　）	
その他（カタログなど）	（レジソークType1カタログ　　）	

・レジソークType1積算価格：9,500円/kg
・レジソークType1材工価格：3,445円/㎡（㎡当り標準塗布量0.16kgを塗布した場合）

積算資料等

・レジソークType1材料費は『2016年重防食塗料積算単価表』参照。

施工管理基準資料等

・塗膜の性能は、NEXCO『構造物施工管理要領』（平成25年7月）2-8-3コンクリート表面含浸材の試験成績表を参照（参照：日塗検試験成績書）。
・自社の施工管理基準は、自社が作成した『単品説明書』にて、レジソークType1の施工に当たっての使用量や、乾燥時間などの施工管理における基準を記載。

新技術概要説明資料（３／５）

新技術名称	レジソークType1	登録No.	1564

（適用条件）

（適用できる条件）
・施工時の気温-10℃以上40℃以下、湿度85%以下であり、降雨、積雪のないこと
・コンクリートの表面含水率が7%以下であること。

（適用できない条件）
・ガラス、塗料などで被覆されているコンクリート構造物
・常時湿潤状態および水中のコンクリート構造物

（設計上の留意点）
・幅0.2mm以上のひび割れがある場合には、事前にひび割れ注入工などの補修をする。
・標準塗布量は0.16Kg/㎡。

（施工上・使用上の留意点）
・適切な保護具を使用すること。
・効果の確認は、未塗装部分との散水比較により、コンクリートの濡れ状態をみることで可能である。
・施工後短時間に雨が当たると塗膜が白変する恐れがあるため、濡れないように養生する。

（残された課題と今後の開発計画）
・実環境のコンクリート構造物での効果持続性の確認。
・耐用年数の向上、含浸深さの更なる向上。

（実験等作業状況）
NEXCO『構造物施工管理要領』（平成25年7月）2-8-3コンクリート表面含浸材の性能項目試験を実施

（添付資料）
実験資料等
第三社公的機関で実施したNEXCO『構造物施工管理要領』（平成25年7月）2-8-3コンクリート表面含浸材の性能項目試験成績表。添付資料：日塗検試験成績書

その他

特　許	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　■4:無し	番号	4
		特許番号	
実用新案	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　■4:無し	番号	4
		新案番号	

評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	証明年月日	証明年月日
	制度等の名称	証明機関
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号
	証明年月日	証明年月日
	証明機関	証明機関
	証明範囲	証明範囲

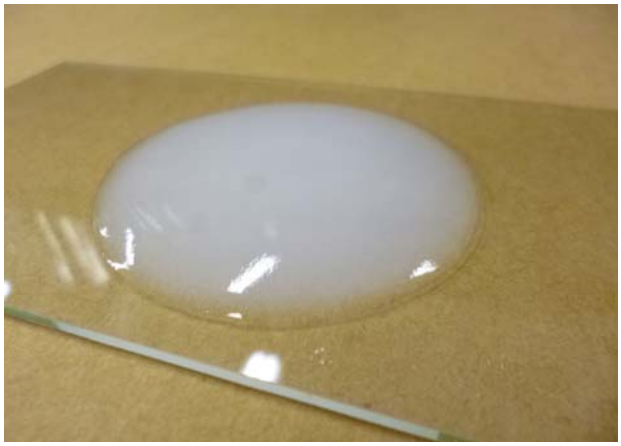
新技術概要説明資料（４／５）

新技術名称	レジソークType1		登録No. 0
実績件数	公共機関: 17	民間:	19
発 注 者	施工時期	工 事 名	CORINS登録No.
北九州市建設局	2015年10月	山の手大橋(高田藤松1号線)橋梁補修工事	
富山県南砺市	2015年6月	社会資本整備総合交付金事業市道石黒北山田線遊部大橋補修工事	
富山市役所	2015年5月	高熊橋上部工補修工事	
宮崎県西米良村	2015年4月	平成26年度社会資本整備総合交付金事業村道橋梁元米良橋補修工事	
福岡県久留米市土木整備事務所	2015年3月	県道武島白口線火焼橋他橋梁補修工事	
宮崎県土木事務所	2015年2月	県道左土原国富線外2路線冷水橋外橋梁補修工事	
石川県能登市	2014年8月	鍋谷川橋塗装工事	
和歌山県	2013年6月	学橋補修工事	
北信建設事務所	2012年10月	平成24年度地域自主戦略金(橋梁補修)工事(夜間瀬橋)	
上田建設事務所	2012年10月	平成23･24年度地域自主戦略金(橋梁補修)工事(上田橋)	

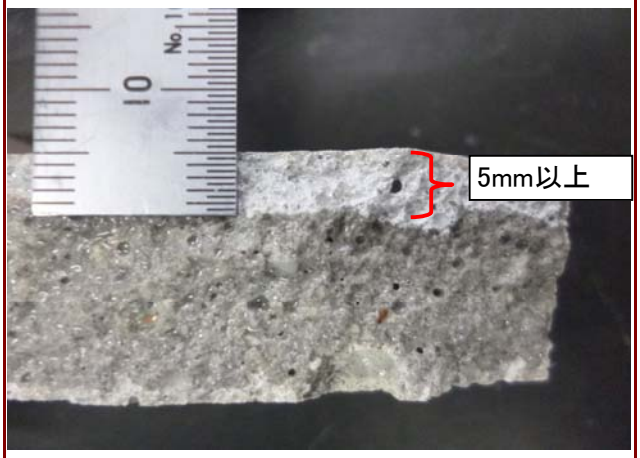
施工実績

新技術概要説明資料（５／５）

新技術名称	レジソークType1	登録No.　1564

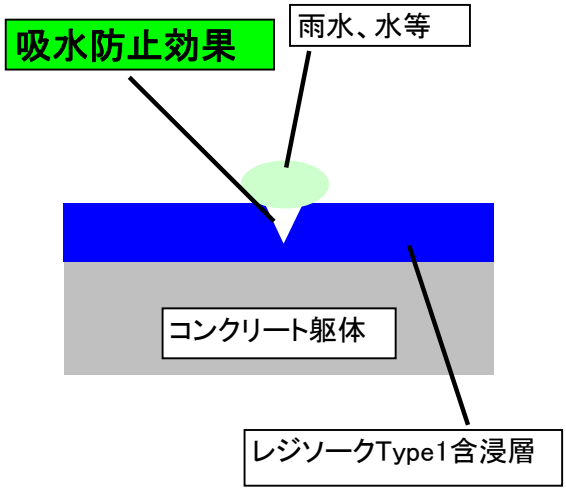


レジソークType1　乳白色　液状



コンクリート内面含浸深さ

吸水防止効果①



吸水防止効果②

レジソークType1塗布状況

レジソークType1比較